

製品名: LCAT (4S11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13245**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	50kDa

抗原情報

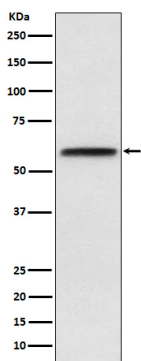
遺伝子名	LCAT
別名	LCAT;
遺伝子 ID	3931.0
SwissProt ID	P04180
免疫原	ヒト LCAT の合成ペプチド

背景

血漿リポタンパク質の細胞外代謝における中心的な酵素。主に肝臓で合成され、血漿中に分泌され、そこでコレステロールとホスファチジルコリン（レシチン）を高密度リポタンパク質（HDL）と低密度リポタンパク質（LDL）表面のコレステロールエステルとリゾホスファチジルコリンに変換する。血漿リポタンパク質の細胞外代謝における中心的な酵素。主に肝臓で合成され、血漿中に分泌され、そこでコレステロールとホスファチジルコリン（レシチン）を高密度リポタンパク質（HDL）と低密度リポタンパク質（LDL）表面のコレステロールエステルとリゾホスファチジルコリンに変換する（PubMed:10329423、PubMed:19065001、PubMed:26195816）。変換されたコレステロールエステルは肝臓へ戻される。血漿中の 16:0-18:2 または 18:0-18:2 ホスファチジルコリンを優先的に吸収する（PubMed:8820107）。脳内では一次アストロサイトによっても産生され、グリア細胞から分泌される新生 APOE 含有リポタンパク質上の遊離コレステロールをエステル化し、脳脊髄液（CSF）中の APOE および APOA1 濃度に影響を与える。APOE およびコレステロールトランスポーター ABCA1 と共に、グリア細胞由来の新生リポタンパク質の成熟に重要な役割を果たす。高密度リポタンパク質粒子を球形にリモデリングするために必要である（PubMed:10722751）。1-O-アルキル-2-アセチル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン（血小板活性化因子または PAF）の 1-O-アルキル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン（リゾ-PAF）への加水分解を触媒します（PubMed:8016111）。また、PAF から 1-ヘキサデカノイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリンへの酢酸基の転移を触媒し、リゾ-PAF を形成します（PubMed:8016111）。セレブロステロールとしても知られる（24S）-ヒドロキシコレステロール（24(S)OH-C）のエステル化を触媒し、24(S)OH-C モノエステルを生成します（PubMed:24620755）。

研究分野

画像データ



ヒト血漿溶解物中の LCAT 発現のウェスタン プロット分析。